

## 森林の大切さ

福岡県八女市

八女市立黒木中学校2年

倉ノ下 栞里

石油や石炭と違い、再生する森の木々は限りなくあると思つてませんか。世界中には、ジャングルが沢山あるから大丈夫なんて思つてませんか。森林の消失は温暖化だけでなく、食糧問題とも大きな関係のある問題なのです。昔は、地球上の陸地のうち、三十パーセント以上が森林でした。しかし、人口が増え続けるので、宅地や農業地の開拓が進み、資源として森林伐採が進んでいます。現在では、森林伐採や環境汚染のた

め、一分間にサッカーコート二十面分の広さの森林が世界中からなくなっています。特に南米やアフリカでは、急激な森林伐採が進行していて森林の減少率は毎年増えています。それではなぜこのようなことがおこるのでしょうか。森林破壊は、人間による森林伐採と酸性雨や、乾燥地域の拡大などによる環境破壊がおおきな原因となっています。世界の現状では、木材は必要不可欠な大切な資源です。しかし、日本などの先進国では、木材を原料とする紙や包装などが過剰に利用され、簡単に捨てられてしまいます。日本が年間に輸入している木材の量からも、日本人が使う木材が森林破壊を進めていることがわかります。それに、森林は、沢山の生物が暮らしている豊かな環境と、生物には欠かせない酸素を作り出しています。そのおかげで、自然のジャングルや森には、

様々な種類の植物や動物で構成された生態系があり、その中を通る川や地下水によって、酸素を多く含んだ栄養豊富な水が海へと流れ込んでいきます。森林と海の循環機能は地球上の温度と大気バランスを保つてくれる炭素吸収源であり、大切な浄化システムなのです。しかし、このシステムの機能が弱まっていくことにより、どんどん温暖化も進行してしまうのです。もし、このまま森林破壊が進むと、地球は人間が住めない星になってしまうかもしれないのです。ここ数年、異常気象が続いていたり、クラゲが異常発生していたり、花粉症が一般的になってきたり、何かが少しずつ変わってきていますよね。その原因はもちろん森林破壊や環境汚染など、人間が作り出している現在の地球環境です。特に温暖化は、地球の歴史上でもあまりにも急激に短期間で上昇しすぎて

いるため、大変深刻な状況です。それでは、私たちが、これからも過ごしていける星にするには何をすればよいのでしょうか。それは、減ってしまった木々を、植林などの緑化活動で少しずつ元に戻していくことです。そうすれば、森林破壊による環境への影響や温暖化の進行を防ぐことが出来ます。しかし、伐採や環境汚染によって植物が失われた土地は、乾燥したり農作物の過剰作付けなどによって、森として再生する力を失っていることが多くあります。成長速度の速い樹ばかりではなく、様々な大きさや種類の植物を植えていくことで、土地自体の力とそれを支える生態系をよみがえらせるのが、植林を成功させることにつながります。森は大きなジャングルばかりでなく、植木鉢や庭にも作る事ができます。自分の手で、小さな森からでいいので、作ってみませんか。